

令和元年10月4日

保護者のみなさまへ

河内長野市立川上小学校
校長 奥田 恭子

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

仲秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。平成31年度（令和元年度）の本校、学力・学習状況調査の結果について、分析（成果と課題）及び取り組みをご報告させていただきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立川上小学校

学力調査の概要

国語

概要

平均正答率は、全国平均より上回っている。前学年までで習得する基礎的・基本的な知識技能についてはほぼ定着していると考えられる。しかし、接続語を使って2つの文に書きかえることや自分の考えを書くことに課題がある面もみられる。授業の中で、こういった書く場面を意識的に設定し、継続して指導していきたい。

特に成果が見られた問題例

1 四（1）『漢字を文の中で正しく使う』

大阪府、全国平均を大きく上回り、意味を理解して書くことができている。本校独自の漢字テストや言葉の単元の学習などから、漢字のもつ意味を考えながら書くことや辞典で新出漢字の読みや意味を調べる活動を取り入れることで定着してきたと考える。継続して指導していきたい。

特に課題が見られた問題例

1 四（2）『接続語を使って内容を分けて書く』

接続語を用いた作文の取り組みは行ってきたが、2つの文に書きかえるというような経験が少なくとまどったようだ。自分が書いた文章の長さに着目して読み返し、長くて伝わりにくい文章の場合には接続語を使って2つの文に分けて書きかえるような文づくりに取り組ませていきたい。また、報告する文章ということから、その条件に合った書き方の必要性も合わせて指導していきたい。

概要

平均正答率は全国平均をやや上回っている。前学年までに習得する基礎的・基本的な知識技能については、全体的にほぼ定着していると考えられる。しかし、全国平均を下回っている問題もところどころ見られた。算数全体を通して、自分の言葉で説明する力に課題があると考えられる。

特に成果が見られた問題例**③ (1) 『減法に関して、成り立つ性質を基にした計算の仕方』**

基礎的な計算が定着していることに加え、例を参考に読み取る力がついてきているものとする。効率的に解くことの大切さも指導していきたい。

③ (2) 『減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質』

全国平均を大きく上回っている。減法の例を基に除法について応用させて書くことができた。少人数や習熟度別で応用問題に取り組み、各教科を通して書くことを意識した取り組みを行ってきた成果といえる。

特に課題が見られた問題例**② (4) 『加法と乗法の混合した整数と小数の計算』**

計算の決まりである加減法よりも乗除法を優先で計算することや小数と整数の加法の計算で位をそろえることが定着されていない。

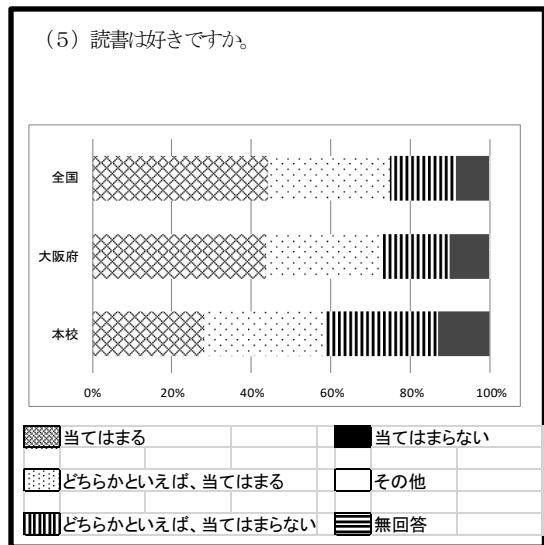
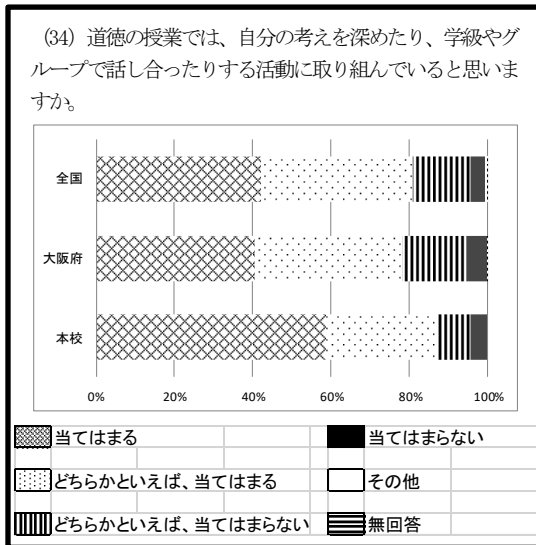
$6+0.5\times 2$ の式に対し、左から順に $6+0.5=6.5$ 、 $6.5\times 2=13$ という誤答が目立った。四則の混合した式や () を用いた式について正しく計算できるよう指導の工夫を行い、基礎的な計算の仕方について定着するように、練習問題にもどんどん取り組ませていきたい。

④ (3) 『場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する。』

2 ページにわたっての問題ということで多くの情報の中から、必要な数字を見だし、立式することが難しかった児童も少なくない。また、問題の答えは分かっているものの、求め方を言葉や式を使って説明することができない児童が全国と比べても多かった。自分のだした答えがなぜそうなったのか、論理的に説明できる力を授業を通して身につけさせたい。

学習状況調査の概要

児童アンケート



概要

各設問において、肯定的な意見が多見られる。大阪府と全国との比較においても多くの設問で大きな差は見られない。「毎日、同じくらいの時間に起きる」などの意見が多く、規則正しい生活習慣を身につけていると考えられる。また、学習においても意欲的に取り組んでいることがわかる。一方、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「学校のきまりを守る」「読書が好き」ではやや肯定的な意見が少なくなっている。さまざまな学習や学校行事、責任感を持ってやり遂げる場を設定することで、達成感や自己有用感を持たせるように指導の工夫を図っていくことが大切であると考え。また、学校のリーダーとして下級生の見本となるよう指導していきたい。

特に成果が見られたアンケート項目例

(34) 『道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やクラスで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。』

肯定的な意見が大阪府より8.8%、全国より6.1%高い。以前より、主体的・対話的な言語活動に力を入れ、道徳や国語だけでなく、各教科で友だちの意見を聞いたり、自分の思いを伝えたりする機会を設定し、工夫して授業を行ってきた成果だと考えられる。

特に課題が見られたアンケート項目例

(5) 『読書は好きですか』

肯定的な意見が大阪府より14.1%、全国より16.3%低い。読書が好きな児童と嫌いな児童との差が大きいと考えられる。読み聞かせや読書タイムの設定など、より充実した読書活動の推進が必要である。また、国語の時間だけでなく生活の中に読書活動を位置付けていきたい。

調査結果を受けて

学校が重点的に取り組んでいくこと

【教科に関すること】

本校では、「わかる授業」「楽しい授業」を視野に入れ、授業の取り組みを進めてきました。国語・算数の学校の平均正答率は、全国平均を上回っていますが、今回の調査で課題として明らかになったものもあります。基礎的・基本的知識・技能の習得を確実なものにするために習熟や理解につながる反復学習を含め、個に応じたきめ細かな指導を行うよう工夫や充実に努めてまいります。また、自分の考えをまとめて発表する活動も引き続き取り組んでいきます。

【生活習慣や学習環境に関すること】

- ・「家読」を含め、家庭学習の定着・充実に取り組みます。学習支援教室「そろばん教室」（3・4年生）、学習支援教室「琴体験」（6年生）、放課後チャレンジ教室（1年生）等の充実に図るとともに、地域と連携した学習支援の取り組みを推進します。
- ・「朝食を毎日食べている」や「同じくらいの時間に寝ている、起きている」については、本校の児童は、大阪府や全国の平均と同様に肯定的な回答が多く、基本的な生活習慣が身につけている様子が見られました。児童が学習や学校行事に進んで取り組んでいけるように、家庭と協力し継続した取り組みを続けていきます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

友だちの考えを聞くことで自分の考えを深めたり、新しい発見をしたりすることができます。「何を伝えようとしているのか」意識して聞くようにしましょう。また、自分の考えもしっかりと伝えるようにしましょう。正しく聞く、伝えるためには内容を整理することや言葉を選ぶことが大切です。読書活動を通して語彙を増やしたり表現のしかたを学んだりしましょう。また、家庭学習をていねいに行うことで、学習したことをしっかりと身につけることができます。繰り返し練習することも大切です。そして、わからないことをそのままにせず、先生に聞いてください。わかる楽しさをいっしょに感じましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

今回、配布いたしました調査結果をお子様と一緒にご覧になり、学力・学習状況の把握していただきますようお願いいたします。これまで学習した内容について、「しっかりと身につけているか。」「基礎的・基本的な問題は理解しているか」「国語・算数、地域での学びの中で学習した内容を学習や日常生活の中で活用しているか」など、ご家庭のご協力を得ながら学校としても指導の充実に図っていきたく思います。

また、子どもたちが健康で意欲的に学習活動や行事に取り組んでいけるよう、規則正しい生活習慣の維持を引き続きお願いいたします。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。